

自主防犯活動への参加を!

「自分たちの安全は
自分たちで守る」
という気持ちを!

犯罪の発生を抑止し、安全で
安心なまちづくりを実現すること
は、警察の力だけで達成できるも
のではありません。

地域と警察の協力のもと、「自分
たちの安全は自分たちで守る」
気持ちを育てましょう!



「無理せず、できることから」
始めましょう!

全国で行われている自主防犯活動には、防犯パトロール、防犯広報、
環境浄化、防犯指導・診断、子どもの保護・誘導、危険箇所点検などがあり
ます。

地域の犯罪の発生状況や社会環境、自主防犯活動に参加する人の
職業、年齢、性別などに応じ、「無理せず、できることから」始めましょう。

町内での声かけ活動や、通学路、公園などでの子どもの見守り活動
により、人の目を確保したり、防犯灯の点検、落書きの消去などの環境
浄化活動を行うことで、犯罪の発生を防止することができます。

子どもと女性の被害防止

子どもの連れ去り等被害防止

子どもと「5つの約束」を

- 1 知らない人には絶対ついて行かない
- 2 連れて行かれそうになったら、
防犯ブザーを鳴らしたり、大声で
叫ぶ、寝転がってバタバタする
などの行動をとる
- 3 外で一人で遊ばない
- 4 友達が連れて行かれそうになったら、大声で助
けを求める
- 5 遊びに行くときは、家の人に「どこで」「誰と」
遊ぶのかを告げる



○子ども110番の家

看板やステッカーの目印があり緊急時に子どもを
保護し、警察に通報してくれます。子どもと一緒に、
必ず複数の場所を確認しておきましょう。



痴漢等被害防止

電車やバス

- 混雑する車両や位置(ドア付近等)を避ける
- 乗車車両や時間帯を時々ずらす
- 何か変だと感じたら、バッグなどの荷物で
体をカバーする

夜道

- 一人歩きを避け、明るく人通りの多い道を歩く
- 携帯電話やメールは注意がおろそかになるので
控える
- 防犯ブザーはすぐに使える、見える場所に持つ

エレベーター

- ホールに不審な人がいないか確認する
- 見知らぬ男性と二人きりになるのを避ける
- 非常ベルや各階ボタンがすぐ押せる位置に立つ



ストーカー被害防止

ストーカーとは…(主なケース)

- つきまとい・待ち伏せ・押しかけ
あなたを尾行しつきまとうなど
- 監視していると告げる行為
その日の服の色やどのような行動を
したかなどをあなたに告げ、監視し
ていることをあなたに気づかせる
- 面会・交際の要求
あなたが拒否しているにもかかわらず、
面会や交際、復縁を求める
- 乱暴な言動
あなたに、大声で「バカヤロー」など
の粗野な言葉をあびせる
- 無言電話・連続した電話・ファクシミリ
電話をかけてくるが、何も告げず、
あなたに不安を感じさせる



ストーカー被害の相談は、まず警察へ!

ストーカー規制法に基づき、防犯指導や防犯ブザーの貸
出、パトロール、行為者への警告、捜査などを行います。

被害に遭わないために

- 氏名、住所、電話番号がわかる書類は細かく破いてから
捨てる。
- 厚手のカーテン、二重鍵、ドアスコープなどを使用し、
用心する。
- 一人で悩まず、警察や信頼できる人間に相談する。

警察との連携を図りながら、被害者の精神的被害回復
のためのカウンセリングなどを行っている民間の被害者
援助団体もあります。詳しくは最寄りの警察署までお問
い合せください。